

みずほCustomer Desk Report 2025/07/11号(As of 2025/07/10)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	145.94 AUD/USD
TKY 9:00AM	146.06	1.1738	171.49	1.3598	0.6536
SYD-NY High	146.78	1.1749	172.18	1.3619	0.6591
SYD-NY Low	145.76	1.1663	170.96	1.3534	0.6534
NY 5:00 PM	146.23	1.1701	171.00	1.3580	0.6589
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,650.64	192.34	日本2年債	0.7500%	0.0000%
NASDAQ	20,630.66	19.32	日本10年債	1.4900%	▲0.0100%
S&P	6,280.46	17.20	米国2年債	3.8711%	0.0230%
日経平均	39,646.36	▲174.92	米国5年債	3.9298%	0.0210%
TOPIX	2,812.34	▲15.82	米国10年債	4.3488%	0.0149%
シカゴ日経先物	39,750.00	▲235.00	独10年債	2.6610%	0.0295%
ロンドンFT	8,975.66	108.64	英10年債	4.5955%	▲0.0070%
DAX	24,456.81	▲92.75	豪10年債	4.2920%	▲0.0600%
ハンセン指数	24,028.37	136.05	USDJPY 1M Vol	9.76%	▲0.54%
上海総合	3,509.68	16.63	USDJPY 3M Vol	9.92%	▲0.30%
NY金	3,325.70	4.70	USDJPY 6M Vol	9.88%	▲0.21%
WTI	66.57	▲1.81	USDJPY 1M 25RR	▲1.05%	Yen Call Over
CRB指数	300.37	▲1.28	EURJPY 3M Vol	8.23%	▲0.20%
ドルインデックス	97.65	0.10	EURJPY 6M Vol	8.59%	▲0.12%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月10日	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	6月 0.0%/2.0%	0.0%/2.0%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	5-Jul 227k	235k
7月11日	02:15	米 ウォラー・FRB理事 講演	「現在の政策金利は依然として非常に抑制的」	
	03:30	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	「関税の物価への影響は当初予想より緩やかになる可能性がある」	

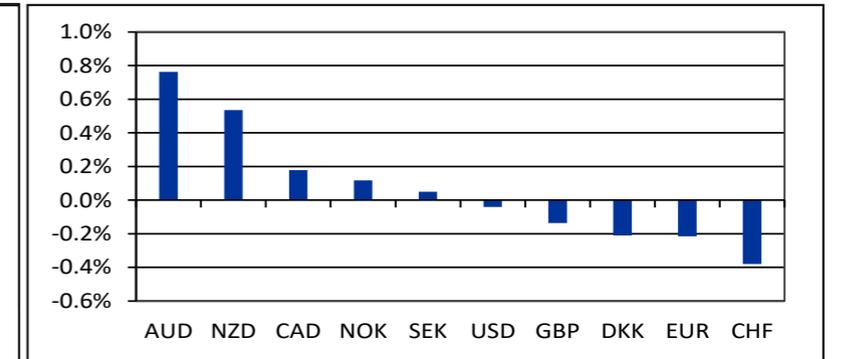
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月11日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	5月 -0.1%/0.2%	-0.6%/-0.3%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	5月 -0.1%/0.4%	-0.9%/0.4%
	15:45	仏 CPI(前月比/前年比)・確報	6月 0.3%/0.9%	0.3%/0.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.75-147.75	1.1675-1.1750	170.50-172.00

【マーケット・インプレッション】

本日のドル円は146円台前半を挟んでの方向感に乏しい展開を想定。日米とも目立った経済指標の公表がない中で、突発的なヘッドラインがない限りは、相場がどちらか一方に動くことはないだろう。実需フローをこなしながらのレンジ相場になりそうだ。昨日公表された地域経済報告(さくらレポート)では、各地域の基調判断が4月公表時点から全地域で据え置かれる結果となった。総じて景気が回復の道半ばにあることをうかがわせる記述が散見された。少なくとも4月時点から景気の勢いが加速した雰囲気は感じられず、日銀の追加利上げのハードルの高さを改めて認識させられる内容であった。

東京	東京時間のドル円は146.06レベルでオープン。トランプ米大統領が銅への50%追加関税を8/1に発動すると発表、前日のブラジルなど8か国に対する関税引き上げ通知公表も相まって、全般的なドル売り地合いのなかドル円は145.76まで下落。売り一服後は底堅い米金利に連れられて146円台半ばまで値を戻し、結局146.27レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ドル円は146.27レベルでオープンし、146.08から146.47の間で同意なく推移。米国の新規失業保険申請件数の発表を控え小動きのまま、結局146.25レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は朝方に発表された米新規失業保険申請件数が予想を下回ると、米金利の上昇を背景に買いが優勢となり、146.78まで上昇。午後は堅調な米30年債の入札結果が重しとなり、146.19まで反落。その後は下げ渋り、146.23レベルでクロス。一方、ユーロは先述の米経済指標の結果を受け、ドルが買われる中1.1663まで下落するも、その後は下げ渋り、1.1690付近まで戻す。午後はドル安の流れとなり、終盤にかけては1.17台ちょうど付近まで戻し、その後1.1701レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。